

2016年スリング・ヒマール偵察

計 画 書



信州大学学士山岳会

○はじめに

中部ネパールヒマラヤのガネッシュヒマールとマナスルヒマールの間を深く刻んで南に流下する大河ブリ・ガンダキは、上流で二俣に分かれ、マナスル北方を水源とする本流である左俣の流域地方はヌプリ(=西山)及びクータンと呼ばれ、右俣であるシャル・コーラ(=東谷)流域地方はツムと呼ばれているチベット人が住む地域である。

この本流とシャルコーラに挟まれたグレートヒマラヤ主脈の北側の山群にスリング・ヒマールがある。周辺は6000m前後と比較的低い高度の稜線が連なっているが、唯一スリング・ヒマール主峰チャマールは、7165mの高度を誇り、ブリ・ガンダキに面して険しい山容で聳えている。

1973年秋、山岳部現役4年目の渡部、高橋両名は、ランタン・ヒマールでの登山を終えた後、主目標のガネッシュ・ヒマール東面のチリメコーラ内院サンジェン氷河の偵察を済ませて南面を横断、アンナプルナ北面を目指してブリ・ガンダキを遡上した。その折にブリ・ガンダキの深いゴルジェの川底から、V字にくぎられた上流の空に5000m以上の圧倒的な標高差で聳えるチャマール峰の南面を眺めて驚嘆した。

今回、初めてのネパールヒマラヤ行から43年ぶりに再び渡部、高橋両名はネパールに旅立ち、かねてより気になっていたスリング・ヒマール周辺の偵察をして、来るべき創立70周年記念事業の候補地としての検討資料に供したい。

○隊の名称

2016年信州大学学士山岳会スリング・ヒマール偵察隊
Shringi Himal Reconnaissance of SAAC 2016

○目的

スリング・ヒマール主峰チャマール峰をめぐる
ツム地方シャルコーラ支流 サルプコーラ上流シャクパ氷河、ウディル
コーラ及びクータン地方セラコーラの踏査

*スリングヒマール (Shringi Himal)

チャマール (Chamar) 7165m (28° 33' 19" N, 84° 56' 48" E)

1953年6月ニュージーランド隊(隊長 A・ロバーツ)初登頂

チャマールは双耳峰で、主峰の南1.2Kmにチャマール南峰 (Chamar South) 7161m があり、南面は巨大な壁となっている。

○期間

2016年4月8日～5月21日

○日程

4月8日中部国際空港 9:25 (KE752) →ICN11:25～13:25 (KE695)
→KTM17:50

4月9日～11日 準備

4月12日～5月11日 (30日) トレッキング及び偵察

KTM→アルグハットバザール→ソティコーラ (by バス) →キャラバン開始→
ジャガット→ロクワ→シャールコーラ→ドムジェ→スリンギ・ヒマール
サルプーコーラ上流 シャクパ氷河偵察 (往復)、ドムジェ→ウディルコーラ
上流偵察 (往復) →ビー→セラコーラ上流偵察 (往復) →サマ→サムド→
ラルキャ・ラ→ビムタン→マルシャンディコーラ ダラパニ キャラバン
終了→ベシサハール→KTM (by バス)

5月20日 KTM20:30 (KE696) →ICN 21日 5:55～9:05 (KE741) →
中部国際空港 10:55

キャラバン中のブリ・ガンダキ沿いのマナスル周遊コース上では、宿泊食事は、ロッジ利用。スリンギ・ヒマール偵察では、キャンプ、テント泊。偵察活動に10日間を計画している。

○雇用ネパール人スタッフ

ガイド1名 (ツム地方の経験のある、チベット語堪能なシェルパ族)、
コック1名、ポーター2名

○携行する装備

偵察活動に必要なテント (2張)、炊事具は、KTMにデポしてあるSAACの
装備を借用する。日本からは、浄水器、ケロシNSTOUBを持参する。

○食糧計画

日本からはアルファーマイ12袋を持参、他はKTMのバザール、スーパー
マーケット、日本食材店等で調達する。

○予算

1. 国内経費 計 220,000 円

1) KTM 往復フライト料金 93,310 円×2 人=186,620 円

2) 装備・食糧費・医薬品 33,380 円

2. 国外経費 計 6,500US \$

(1) トレッキング・偵察経費

①エージェント支払料（許可証、国立公園入園料、TIMS、スタッフ支給
装備費、保険費、日当等雇用費、ポーター雇用費、宿泊費、食費等）
5,550US \$

②現地移動費（ローカルバス、乗合いジープ）6 人分 450US \$

小計 6,000US \$

(2) KTM 滞在費 10 日×2 人分 小計 500US \$

1. 国内経費 + 2. 国外経費 合計 1,000,000 円/2 人

（ビザ代、日山協山岳保険料、個人小遣い、隊交際費を除く）

○ネパールエージェント

コスモトレック（株）

Lazimpat, Kathmandu, NEPAL P.O Box:2541

Tel 977-1-4416226, 977-1-4411437 Fax 977-1-4415275

○在ネパール日本大使館

Panipokhari, Kathmandu, NEPAL P.O Box:264

Tel 977-1-4426680, 977-1-4414101

○国内留守本部

藤松 太一（信州大学学士山岳会 会長）

長野県上田市

○隊員

渡部 光則（1970 年入学 1976 年農学部林学科卒、信州大学学士山岳会）

住所：岐阜県岐阜市

生年月日：1950 年

高橋 雄治（1970 年入学 1976 年農学部森林工学科卒、信州大学学士山岳会）

住所：長野県安曇野市

生年月日：1950 年